

特別企画：茨城県内企業のメインバンク動向調査（2020年）

「常陽銀行」が47.83%でシェアトップ ～すべての業種、売上規模で「常陽銀行」がトップ～

はじめに

日本銀行のマイナス金利政策による超低金利の長期化が響き、金融機関にとって厳しい経営環境が続いている。上場地方銀行の2020年4-9月期中間決算では、発表分のうち6割で最終損益が減益・赤字となった。各金融機関ではこれまで、店舗統廃合や人員削減を推し進めるコスト圧縮や、FintechなどIT化の推進、活動基盤の拡大に伴う越境融資など、攻防含めた生き残り策を続けてきた。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大という想定外の事態に直面するなか、融資先企業の業績悪化などから与信費用が増加するなど、経営環境は一段と厳しくなっている。

折しも、菅義偉首相が「地銀は多すぎる」と述べるなど金融機関の再編圧力が高まり、生き残り競争が激化している。こうしたなか、長期で安定した資金供給や経営支援を通じた成長が期待できる取引企業の確保は、金融機関にとってこれまで以上に重要となってくる。

帝国データバンクでは、2020年10月末時点の企業概要データベース「COSMOS2」（約147万社収録、茨城県約2万9000社、特殊法人・個人事業主含む）をもとに、企業が「メインバンク」と認識する金融機関について抽出し、集計・分析した。また、一企業に複数のメインがあるケースでは、各企業が最上位として認識している金融機関をメインバンクとして集計した

本調査は帝国データバンクが独自に調査・保有する企業概要データベース「COSMOS2」に収録された企業データであるため、各金融機関がメインとして認識する実数と異なる場合がある

調査結果（要旨）

- 2020年のメインバンク社数トップは、「常陽銀行」（1万3466社、シェア47.83%、前年比0.19pt減）。以下、「筑波銀行」（5256社、シェア18.67%、前年比0.02pt増）、「茨城県信組」（3018社、同10.72%、同0.01pt減）、「水戸信金」（2149社、同7.63%、同0.02pt減）、「結城信金」（1089社、同3.87%、同0.04pt減）となった
- 業態別では、「地方銀行」が69.58%で約7割を占めた。前年比では0.07pt減少したものの、2位「信用金庫」（12.93%）、3位の「信用組合」（10.81%）を大きく引き離す結果となった
- 業種別では、すべての業種で「常陽銀行」が1位。なかでも、「サービス」と「卸売」の2業種で5割超と「常陽銀行」の強さが際立った
- 売上規模別では、「5000万円未満」「5000万円～1億円未満」「1億円～5億円未満」「5億円～10億円未満」「10億円～50億円未満」「50億円以上」すべてで「常陽銀行」がトップとなった

1. ランキング ～「常陽銀行」が5割近くを占めシェアトップ～

2020年のメインバンク社数トップは「常陽銀行」で、企業数は1万3466社となり、シェアは47.83%（前年比0.19pt減）であった。2位は「筑波銀行」の5256社（シェア18.67%、前年比0.02pt増）、3位は「茨城県信組」3018社、（同10.72%、同0.01pt減）、4位は「水戸信金」2149社、（同7.63%、同0.02pt減）、5位は「結城信金」1089社、（同3.87%、同0.04pt減）となり、上位5位はいずれも地元の地銀、信用組合、信金が占める結果となった。このうち、「筑波銀行」は県内シェアが前年より拡大している。

地元の金融機関に続き6位となったのは、東京都内に本店を置く「東日本銀行」の533社（シェア1.89%、前年比0.01pt増）、7位は「常陽銀行」と同じ「めぶきフィナンシャルグループ」に属する「足利銀行」の469社（同1.67%、同変動なし）であった。都市銀行で県内シェアトップとなったのは「三菱UFJ銀行」で271社（同0.96%、同0.01pt増）。

茨城県メインバンク社数

経年比較					2020年				2019年			
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比
		(社)		(pt)		(社)		(pt)		(社)		(pt)
1	常陽	13,466	47.83%	▲ 0.19	1	13,707	48.02%	+0.15	1	13,707	48.02%	+0.15
2	筑波	5,256	18.67%	+0.02	2	5,325	18.65%	▲ 0.14	2	5,325	18.65%	▲ 0.14
3	茨城県信組	3,018	10.72%	▲ 0.01	3	3,064	10.73%	▲ 0.07	3	3,064	10.73%	▲ 0.07
4	水戸信金	2,149	7.63%	▲ 0.02	4	2,185	7.65%	▲ 0.06	4	2,185	7.65%	▲ 0.06
5	結城信金	1,089	3.87%	▲ 0.04	5	1,115	3.91%	+0.03	5	1,115	3.91%	+0.03
6	東日本	533	1.89%	+0.01	6	537	1.88%	▲ 0.03	6	537	1.88%	▲ 0.03
7	足利	469	1.67%	±0.00	7	477	1.67%	+0.01	7	477	1.67%	+0.01
8	三菱UFJ	271	0.96%	+0.01	8	272	0.95%	±0.00	8	272	0.95%	±0.00
9	みずほ	266	0.94%	+0.03	9	259	0.91%	+0.02	9	259	0.91%	+0.02
10	三井住友	254	0.90%	+0.05	10	244	0.85%	±0.00	10	244	0.85%	±0.00
11	↑ 千葉	185	0.66%	+0.06	12	171	0.60%	+0.03	12	171	0.60%	+0.03
12	↓ 銚子信金	178	0.63%	▲ 0.01	11	183	0.64%	±0.00	11	183	0.64%	±0.00
13	佐原信金	122	0.43%	+0.01	13	121	0.42%	▲ 0.01	13	121	0.42%	▲ 0.01
14	武蔵野	95	0.34%	+0.01	14	93	0.33%	±0.00	14	93	0.33%	±0.00
15	↑ 東邦	63	0.22%	+0.01	16	61	0.21%	+0.01	16	61	0.21%	+0.01
16	↓ 栃木	63	0.22%	±0.00	15	62	0.22%	+0.01	15	62	0.22%	+0.01
17	りそな	58	0.21%	+0.01	17	58	0.20%	±0.00	17	58	0.20%	±0.00
18	埼玉りそな	53	0.19%	±0.00	18	54	0.19%	+0.01	18	54	0.19%	+0.01
19	商工中金	48	0.17%	±0.00	19	48	0.17%	±0.00	19	48	0.17%	±0.00
20	烏山信金	29	0.10%	▲ 0.01	20	30	0.11%	+0.01	20	30	0.11%	+0.01

2. 業態別シェア ～「地方銀行」のシェアが約 7 割でトップ～

茨城県内企業のメインバンクを業態別にみると、シェアが最も高いのは「常陽銀行」など「地方銀行」の 69.58% で約 7 割を占めた。前年比では 0.07pt 減少したものの、2 位「信用金庫」(12.93%)、3 位の「信用組合」(10.81%) を大きく引き離す結果となっている。他方、「都市銀行」(3.20%)、「第二地方銀行」(2.30%) のシェアは、全体からみるとわずかではあるが、それぞれ前年を 0.09pt、0.02pt 上回った。

業態別シェア

業態別					
調査年	地方銀行	信用金庫	信用組合	都市銀行	第二地方銀行
2018	69.54%	13.02%	10.89%	3.07%	2.31%
2019	69.65%	13.00%	10.82%	3.11%	2.28%
2020	69.58%	12.93%	10.81%	3.20%	2.30%
前年比 (pt)	▲ 0.07	▲ 0.07	▲ 0.01	+0.09	+0.02

3. 業種別シェア ～すべての業種で「常陽銀行」がトップ～

茨城県内の企業がメインバンクとしている金融機関を業種別にみると、すべての業種で「常陽銀行」がトップとなった。なかでも、「サービス」(シェア 51.46%)、「卸売」(同 50.15%) の 2 業種は 5 割以上を占めており、「常陽銀行」の強さが際立つ。また、すべての業種で「筑波銀行」が 2 位、「茨城県信組」が 3 位のシェアを確保したものの、「常陽銀行」との差は依然として大きい。4 位には「建設」「卸売」「小売」「運輸・通信」「サービス」「不動産」の 6 業種で「水戸信金」、「製造」の 1 業種で「結城信金」がランクインした。2019 年と比べ、総じて上位の顔ぶれに大きな変化はなかった。

地元の金融機関以外では「東日本銀行」と「足利銀行」が 7 業種すべてで 10 位以内にランクイン。特に、「東日本銀行」は「不動産」で「結城信金」に並ぶ 5 位に食い込んでおり、県外に本店を置く金融機関のなかでは強さを示した。

都市銀行においては「みずほ銀行」が「製造」「卸売」「小売」「運輸・通信」「サービス」「不動産」の 6 業種、「三井住友銀行」が「製造」「卸売」「運輸・通信」「サービス」「不動産」の 5 業種で 10 位以内にランクイン。「三菱UFJ 銀行」においても「製造」「卸売」「小売」「サービス」の 4 業種で 10 位以内にランクイン、地元の金融機関には及ばないが存在感を示した結果となっている。

業種別シェア

建設		経年比較			2020年			2019年		
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	順位	社数
		(社)	(pt)			(社)	(pt)			(社)
1	常陽	4,610	47.44%	+0.04	1	4,693	47.40%	+0.04		
2	筑波	1,888	19.43%	▲ 0.12	2	1,935	19.55%	+0.05		
3	茨城県信組	1,194	12.29%	▲ 0.02	3	1,219	12.31%	▲ 0.08		
4	水戸信金	860	8.85%	+0.01	4	875	8.84%	▲ 0.09		
5	結城信金	409	4.21%	▲ 0.07	5	424	4.28%	+0.10		
6	東日本	162	1.67%	+0.04	6	161	1.63%	▲ 0.03		
7	足利	123	1.27%	+0.03	7	123	1.24%	+0.01		
8	銚子信金	88	0.91%	▲ 0.01	8	91	0.92%	±0.00		
9	武蔵野	60	0.62%	+0.01	9	60	0.61%	+0.01		
9	▲ 千葉	60	0.62%	+0.08	10	53	0.54%	±0.00		

製造		経年比較			2020年			2019年		
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	順位	社数
		(社)	(pt)			(社)	(pt)			(社)
1	常陽	1,564	46.77%	▲ 0.27	1	1,595	47.04%	+0.17		
2	筑波	616	18.42%	▲ 0.16	2	630	18.58%	▲ 0.10		
3	茨城県信組	258	7.72%	▲ 0.15	3	267	7.87%	▲ 0.08		
4	結城信金	155	4.64%	+0.01	4	157	4.63%	▲ 0.04		
5	水戸信金	151	4.52%	+0.01	5	153	4.51%	▲ 0.04		
6	▲ 三菱UFJ	82	2.45%	+0.03	7	82	2.42%	+0.01		
6	足利	82	2.45%	▲ 0.09	6	86	2.54%	+0.02		
8	東日本	79	2.36%	+0.03	8	79	2.33%	+0.04		
9	みずほ	72	2.15%	+0.06	9	71	2.09%	▲ 0.06		
10	三井住友	67	2.00%	+0.08	10	65	1.92%	+0.01		

卸売		経年比較			2020年			2019年		
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	順位	社数
		(社)	(pt)			(社)	(pt)			(社)
1	常陽	1,374	50.15%	▲ 0.78	1	1,431	50.93%	▲ 0.13		
2	筑波	459	16.75%	+0.13	2	467	16.62%	▲ 0.09		
3	茨城県信組	255	9.31%	+0.41	3	250	8.90%	▲ 0.06		
4	水戸信金	149	5.44%	+0.10	4	150	5.34%	▲ 0.05		
5	結城信金	87	3.18%	▲ 0.13	5	93	3.31%	+0.10		
6	足利	72	2.63%	▲ 0.07	6	76	2.70%	▲ 0.05		
7	東日本	65	2.37%	▲ 0.01	7	67	2.38%	▲ 0.02		
8	三菱UFJ	58	2.12%	+0.09	8	57	2.03%	▲ 0.12		
9	三井住友	44	1.61%	+0.15	9	41	1.46%	+0.12		
10	↓ みずほ	40	1.46%	±0.00	9	41	1.46%	+0.01		

小売		経年比較			2020年			2019年		
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	順位	社数
		(社)	(pt)			(社)	(pt)			(社)
1	常陽	1,706	46.38%	▲ 0.42	1	1,771	46.80%	+0.70		
2	筑波	742	20.17%	+0.06	2	761	20.11%	▲ 0.51		
3	茨城県信組	457	12.43%	+0.19	3	463	12.24%	±0.00		
4	水戸信金	299	8.13%	+0.04	4	306	8.09%	▲ 0.04		
5	結城信金	151	4.11%	+0.04	5	154	4.07%	▲ 0.06		
6	東日本	71	1.93%	▲ 0.10	6	77	2.03%	▲ 0.14		
7	足利	67	1.82%	+0.02	7	68	1.80%	+0.12		
8	三菱UFJ	29	0.79%	+0.08	8	27	0.71%	+0.09		
9	銚子信金	22	0.60%	+0.02	9	22	0.58%	+0.01		
10	▲ みずほ	17	0.46%	+0.04	11	16	0.42%	+0.06		

運輸・通信		経年比較			2020年			2019年		
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	順位	社数
		(社)	(pt)			(社)	(pt)			(社)
1	常陽	490	38.80%	▲ 0.44	1	494	39.24%	▲ 0.73		
2	筑波	256	20.27%	+0.17	2	253	20.10%	+0.43		
3	茨城県信組	180	14.25%	▲ 0.13	3	181	14.38%	▲ 0.07		
4	水戸信金	97	7.68%	▲ 0.10	4	98	7.78%	+0.04		
5	結城信金	82	6.49%	▲ 0.02	5	82	6.51%	+0.19		
6	東日本	29	2.30%	+0.08	6	28	2.22%	▲ 0.07		
7	足利	26	2.06%	+0.15	7	24	1.91%	+0.01		
8	三井住友	16	1.27%	+0.16	8	14	1.11%	+0.08		
9	みずほ	11	0.87%	±0.00	9	11	0.87%	▲ 0.08		
10	佐原信金	10	0.79%	±0.00	10	10	0.79%	±0.00		

サービス		経年比較			2020年			2019年		
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	順位	社数
		(社)	(pt)			(社)	(pt)			(社)
1	常陽	2,772	51.46%	▲ 0.11	1	2,784	51.57%	+0.11		
2	筑波	987	18.32%	+0.13	2	982	18.19%	▲ 0.20		
3	茨城県信組	451	8.37%	▲ 0.21	3	463	8.58%	▲ 0.08		
4	水戸信金	427	7.93%	+0.04	4	426	7.89%	▲ 0.05		
5	結城信金	150	2.78%	+0.04	5	148	2.74%	±0.00		
6	東日本	88	1.63%	▲ 0.02	6	89	1.65%	+0.03		
7	みずほ	80	1.49%	+0.08	7	76	1.41%	+0.16		
8	足利	61	1.13%	▲ 0.06	8	64	1.19%	±0.00		
9	三井住友	58	1.08%	▲ 0.01	9	59	1.09%	+0.01		
10	三菱UFJ	53	0.98%	±0.00	10	53	0.98%	+0.03		

不動産		経年比較			2020年			2019年		
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	順位	社数
		(社)	(pt)			(社)	(pt)			(社)
1	常陽	580	45.61%	▲ 0.25	1	581	45.86%	+0.14		
2	筑波	214	16.83%	+0.26	2	210	16.57%	▲ 0.15		
3	茨城県信組	170	13.37%	+0.11	3	168	13.26%	+0.19		
4	水戸信金	120	9.44%	▲ 0.35	4	124	9.79%	+0.12		
4	▲ 東日本	33	2.60%	+0.15	6	31	2.45%	+0.07		
5	結城信金	33	2.60%	▲ 0.16	5	35	2.76%	▲ 0.09		
7	足利	29	2.29%	+0.08	7	28	2.21%	▲ 0.01		
8	千葉	17	1.35%	+0.09	8	16	1.26%	+0.07		
9	三井住友	16	1.27%	+0.09	9	15	1.18%	▲ 0.09		
10	みずほ	12	0.95%	+0.08	10	11	0.87%	▲ 0.24		

4. 売上規模別 ～すべての売上規模で「常陽銀行」がシェアトップ～

茨城県内の企業がメインバンクとしている金融機関を売上規模別にみると、「5000万円未満」「5000万円～1億円未満」「1億円～5億円未満」「5億円～10億円未満」「10億円～50億円未満」「50億円以上」すべてで「常陽銀行」がトップ、いずれも5割前後という高いシェアを占める結果となった。なかでも、「5億円～10億円未満」「10億円～50億円未満」では50%を超えており、同行に対する支持の高さがうかがえる。

売上規模10億円までは「常陽銀行」「筑波銀行」「茨城県信組」「水戸信金」「結城信金」の県内金融機関が上位を占めているが、10億円を上回るようになると「三菱UFJ銀行」「みずほ銀行」など都市銀行が上位へランクインしていた。特に、「50億円以上」になると、トップの「常陽銀行」に続いて、「三菱UFJ銀行」「三井住友銀行」「みずほ銀行」といった都市銀行が上位5位以内にランクインしている。

売上規模別シェア

5000万円未満 経年比較						2019年					
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	(pt)	順位	社数	シェア	前年比	(pt)	
1	常陽	(社)	5,282	47.08%	▲0.29	1	5,404	47.37%	+0.34	(pt)	
2	筑波	(社)	2,112	18.82%	▲0.02	2	2,149	18.84%	▲0.19	(pt)	
3	茨城県信組	(社)	1,341	11.95%	+0.14	3	1,347	11.81%	▲0.19	(pt)	
4	水戸信金	(社)	975	8.69%	+0.05	4	986	8.64%	±0.00	(pt)	
5	結城信金	(社)	495	4.41%	+0.04	5	499	4.37%	▲0.04	(pt)	
6	東日本	(社)	205	1.83%	+0.03	6	205	1.80%	▲0.01	(pt)	
7	足利	(社)	159	1.42%	+0.04	7	157	1.38%	▲0.04	(pt)	
8	三井住友	(社)	74	0.66%	▲0.01	8	77	0.67%	+0.05	(pt)	
9	みずほ	(社)	69	0.61%	±0.00	9	70	0.61%	▲0.07	(pt)	
10	三菱UFJ	(社)	67	0.60%	+0.02	10	66	0.58%	▲0.01	(pt)	

5000万円～1億円未満 経年比較						2019年					
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	(pt)	順位	社数	シェア	前年比	(pt)	
1	常陽	(社)	2,406	45.17%	▲0.19	1	2,468	45.36%	+0.28	(pt)	
2	筑波	(社)	1,100	20.65%	+0.56	2	1,093	20.09%	▲0.37	(pt)	
3	茨城県信組	(社)	642	12.05%	▲0.41	3	678	12.46%	+0.02	(pt)	
4	水戸信金	(社)	436	8.19%	▲0.03	4	447	8.22%	+0.05	(pt)	
5	結城信金	(社)	221	4.15%	▲0.26	5	240	4.41%	+0.02	(pt)	
6	東日本	(社)	109	2.05%	▲0.03	6	113	2.08%	▲0.13	(pt)	
7	足利	(社)	80	1.50%	▲0.10	7	87	1.60%	+0.10	(pt)	
8	みずほ	(社)	47	0.88%	▲0.06	8	51	0.94%	+0.04	(pt)	
9	三菱UFJ	(社)	37	0.69%	+0.07	9	34	0.62%	+0.18	(pt)	
10	三井住友	(社)	36	0.68%	+0.13	10	30	0.55%	▲0.13	(pt)	

1～5億円未満 経年比較						2019年					
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	(pt)	順位	社数	シェア	前年比	(pt)	
1	常陽	(社)	4,049	48.80%	▲0.02	1	4,086	48.82%	▲0.05	(pt)	
2	筑波	(社)	1,549	18.67%	▲0.25	2	1,584	18.92%	+0.08	(pt)	
3	茨城県信組	(社)	874	10.53%	▲0.01	3	882	10.54%	+0.09	(pt)	
4	水戸信金	(社)	601	7.24%	+0.02	4	604	7.22%	▲0.20	(pt)	
5	結城信金	(社)	295	3.56%	▲0.05	5	302	3.61%	+0.06	(pt)	
6	東日本	(社)	167	2.01%	+0.06	6	163	1.95%	▲0.03	(pt)	
7	足利	(社)	154	1.86%	▲0.06	7	161	1.92%	±0.00	(pt)	
8	千葉	(社)	71	0.86%	+0.06	9	67	0.80%	▲0.01	(pt)	
9	三井住友	(社)	69	0.83%	+0.05	10	65	0.78%	±0.00	(pt)	
10	みずほ	(社)	66	0.80%	+0.10	11	59	0.70%	±0.00	(pt)	

5～10億円未満 経年比較						2019年					
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	(pt)	順位	社数	シェア	前年比	(pt)	
1	常陽	(社)	781	51.01%	▲0.55	1	791	51.56%	▲1.77	(pt)	
2	筑波	(社)	281	18.35%	▲0.23	2	285	18.58%	+1.02	(pt)	
3	茨城県信組	(社)	98	6.40%	+0.34	3	93	6.06%	+0.05	(pt)	
4	水戸信金	(社)	79	5.16%	▲0.12	4	81	5.28%	▲0.20	(pt)	
5	結城信金	(社)	50	3.27%	+0.34	5	45	2.93%	+0.42	(pt)	
6	足利	(社)	40	2.61%	+0.33	7	35	2.28%	▲0.03	(pt)	
7	東日本	(社)	34	2.22%	▲0.13	6	36	2.35%	+0.03	(pt)	
8	三菱UFJ	(社)	30	1.96%	+0.07	8	29	1.89%	▲0.31	(pt)	
9	三井住友	(社)	23	1.50%	±0.00	9	23	1.50%	▲0.15	(pt)	
10	みずほ	(社)	22	1.44%	▲0.06	9	23	1.50%	▲0.02	(pt)	

10～50億円 経年比較						2019年					
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	(pt)	順位	社数	シェア	前年比	(pt)	
1	常陽	(社)	750	55.35%	▲0.17	1	749	55.52%	+1.06	(pt)	
2	筑波	(社)	190	14.02%	+0.53	2	182	13.49%	▲0.94	(pt)	
3	茨城県信組	(社)	53	3.91%	▲0.17	3	55	4.08%	▲0.07	(pt)	
4	みずほ	(社)	48	3.54%	+0.06	5	47	3.48%	▲0.07	(pt)	
5	水戸信金	(社)	46	3.39%	▲0.24	4	49	3.63%	▲0.30	(pt)	
6	三菱UFJ	(社)	44	3.25%	▲0.01	6	44	3.26%	▲0.14	(pt)	
7	三井住友	(社)	32	2.36%	+0.28	8	28	2.08%	+0.27	(pt)	
8	足利	(社)	32	2.36%	▲0.16	7	34	2.52%	+0.03	(pt)	
9	千葉	(社)	25	1.85%	+0.37	10	20	1.48%	+0.27	(pt)	
10	結城信金	(社)	24	1.77%	▲0.16	9	26	1.93%	▲0.03	(pt)	

50億円以上 経年比較						2019年					
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	(pt)	順位	社数	シェア	前年比	(pt)	
1	常陽	(社)	166	45.86%	▲1.84	1	176	47.70%	▲0.03	(pt)	
2	三菱UFJ	(社)	31	8.56%	+0.16	2	31	8.40%	+0.67	(pt)	
3	三井住友	(社)	24	6.63%	+0.67	3	22	5.96%	▲1.24	(pt)	
4	みずほ	(社)	21	5.80%	▲0.16	3	22	5.96%	+0.36	(pt)	
5	筑波	(社)	20	5.52%	+0.10	5	20	5.42%	▲0.71	(pt)	
6	茨城県信組	(社)	10	2.76%	+0.86	7	7	1.90%	+0.03	(pt)	
7	水戸信金	(社)	8	2.21%	+0.04	6	8	2.17%	+0.30	(pt)	
8	茨城県信組	(社)	5	1.38%	▲0.25	8	6	1.63%	+0.56	(pt)	
9	千葉	(社)	4	1.10%	+0.02	9	4	1.08%	+0.01	(pt)	
10	商工中金	(社)	4	1.10%	+0.02	9	4	1.08%	+0.01	(pt)	

まとめ

2020年のメインバンク調査では、「常陽銀行」が前年に引き続き茨城県内シェアトップ（47.83%）となった。県内企業の半数近くが同行を主力行としており、そのなかでも「サービス」（51.46%）、「卸売」（50.15%）の2業種が5割以上のシェアと圧倒的な強さである。

2位の「筑波銀行」（18.67%）以下、「茨城県信組」（10.72%）、「水戸信金」（7.63%）、「結城信金」（3.87%）と続き、地元の地銀、信用組合、信金がこれまでと同じく上位を占めた。その占有率は、「常陽銀行」など地元の5金融機関で9割近くに達する結果となった。

金融機関を取り巻く経営環境は、2020年に入っても改善の兆しがみえない。長引く日銀の超低金利政策、人口減少などによる地域経済の停滞等により、企業への貸出利息などこれまで安定して得られた銀行業本来の収益が期待できず、経営戦略の見直しを余儀なくされている。

その一方で、地元の中小企業では事業承継や創業支援等、融資以外の金融サービスに対するニーズは依然として根強い。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた企業に対する融資など資金繰りの相談に際し、地域密着型の金融機関を選択する傾向も見受けられる。今後は金利競争以外の魅力度を高めた金融機関が、様々な企業から幅広い支持を得ていく可能性が高い。コロナ禍の経営環境の悪化で企業や経営者の価値観に変化が表れつつある。地域に根を張ったきめ細やかな顧客対応、コンサルティングメニューの充実化など付加価値の高い金融サービス提供への取り組みがメインバンクには求められるであろう。

【 内容に関するお問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク 水戸支店（情報担当：国分 信一郎）
TEL 029-221-3717 FAX 029-232-0272 MOBILE 080-7002-7189

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。